

警察官の増員等について

【関係省庁】 国家公安委員会 警察庁

京都府の治安情勢は、刑法犯認知件数が減少するなど改善傾向にあるものの、府民生活に大きな不安と脅威を与える事件が相次ぐなど、依然として厳しい情勢にあります。

つきましては、府民の治安に対する不安を払拭し、治安再生に向けた取組を一層強化するため、警察官の増員等を要望します。

<警察庁の概算要求>

■ 警察基盤の充実強化

依然として厳しい治安情勢や大量退職時代の到来に的確に対処するため、装備資機材・警察施設の整備、警察活動基盤を充実強化するための施策等を推進するとともに、必要な地方警察官等を増員し、人的基盤の強化を図る。

- ・ 地方警察官の増員 増員数 833 人
- ・ 装備資機材・警察施設の整備充実 401 億円

<京都府からの要望>

1 サイバー犯罪捜査員の増員等

インターネット上に氾濫する違法・有害情報の発信者端末等の情報から被疑者を特定・検挙するためのサイバー犯罪捜査員を増員するとともに、違法・有害情報の発信者端末等の情報から被疑者を特定・検挙するために不可欠なパソコン、携帯電話等の捜査用資機材の整備充実をお願いします。

2 長期未解決事件捜査員の増員

京都府では、平成 21 年中は 26 件の殺人事件を検挙しているものの、平成 7 年以降、10 件の殺人事件が未解決となっており、それら長期未解決事件を早期に解決するため、長期未解決事件捜査員を増員してください。

3 見当たり捜査員の増員

京都府では、平成 22 年中は 9 月末現在で指名手配被疑者を 18 人検挙しているものの、未だ 25 人の指名手配被疑者が逃亡中であることから、逃亡中の指名手配被疑者を速やかに検挙するため、見当たり捜査員を増員してください。

〔 ※ 見当たり捜査～指名手配被疑者の写真を多数記憶した捜査員が繁華街や駅等の人が多く集まる場所で、指名手配被疑者を発見・検挙する捜査手法 〕

4 検視官等の増員

京都府では、平成 21 年中は 2,989 件の死体を取り扱い、そのうち検視官が現場に臨場した割合が 4 割に満たないことから、検視官とその補助者が更に多くの現場に臨場することで、犯罪死の見逃しを防止するため、死因の究明にあたる検視官等を増員してください。

京都府の現状・課題等

○ 依然として厳しい治安情勢（刑法犯認知件数）

刑法犯の認知件数は、平成8年から急増し始め、平成14年をピークに減少傾向に転じたものの、未だ高水準

年	平成7年	平成8年	平成21年
認知件数	34,925件	42,884件	44,538件
重要犯罪	395件	386件	353件
検挙件数	12,856件	13,765件	11,743件
重要犯罪	387件	383件	232件
検挙率	36.8%	32.1%	26.4%
重要犯罪	98.0%	99.2%	65.7%

※ 重要犯罪～殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ

○ サイバー犯罪相談件数の推移

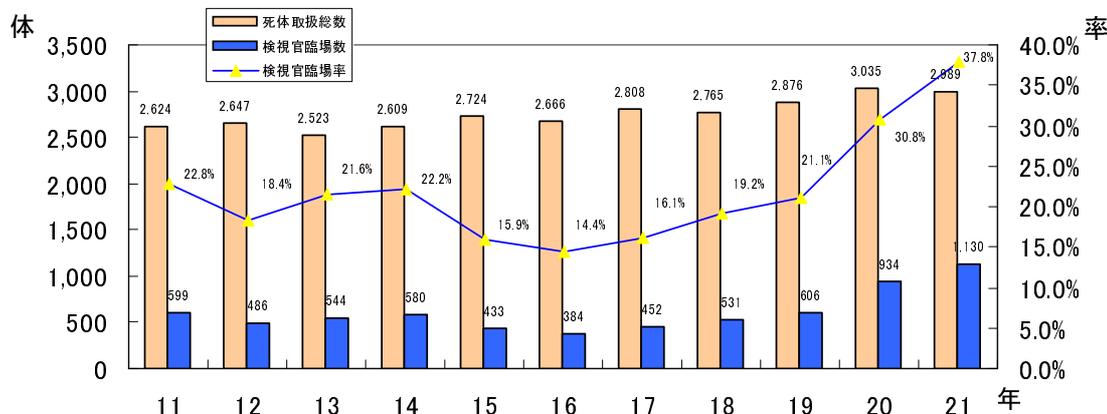
年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成17年対比
京 都	1,474件	1,431件	1,510件	1,688件	2,564件	1,090件 (74%)
全 国	84,173件	61,467件	73,193件	81,994件	83,739件	▲434件 (▲1%)

○ 京都府における未解決捜査本部事件（平成7年以降）

番号	発生年	発生署	事件名	被害者
1	平成7年	南丹署	鐘打川における女性殺人・死体遺棄事件	女性・44歳
2	平成8年	五条署	下京区における輸入雑貨商強盗殺人事件	男性・39歳
3	平成9年	綾部署	紫水ヶ丘団地における主婦殺人事件	女性・38歳
4	平成12年	木津署	南山城村食料品店における強盗殺人事件	女性・68歳
5	平成13年	下鴨署	マンション内における女性殺人事件	女性・46歳
6	平成13年	舞鶴署	舞鶴市における女子高生殺人容疑事件	女性・18歳
7	平成15年	東山署	宮川筋お好み焼屋における殺人事件	女性・75歳
8	平成19年	下鴨署	左京区における大学生殺人事件	男性・20歳
9	平成22年	伏見署	竹田市営住宅における母子殺人事件	女性・34歳 男児・5歳
10	平成22年	田辺署	京田辺市における男性殺人事件	男性・62歳

※ 平成22年10月1日現在

○死体取扱状況



【京都府の担当部局】

警察本部 総務部会計課 075-451-9111 (内線 2244)

警察本部 警務部警務課 075-451-9111 (内線 2651)

警察本部 生活安全部生活安全企画課 075-451-9111 (内線 3026)